

貸借対照表

静岡ガスエネルギー株式会社

平成21年12月31日現在

| 資産の部 | | | | 千円 | 負債の部 | | | | 千円 |
|------|---|---|---|-----------|------|---|---|---|-----------|
| 流 | 動 | 資 | 産 | 2,362,765 | 流 | 動 | 負 | 債 | 1,557,641 |
| 現 | 金 | 及 | び | 100,632 | 1 | 年 | 内 | 返 | 293,200 |
| 受 | 取 | 手 | 形 | 78,354 | 買 | 掛 | 金 | | 619,050 |
| 売 | 掛 | | 金 | 628,996 | 未 | 払 | 金 | | 103,095 |
| 未 | 収 | 入 | 金 | 11,472 | 未 | 払 | 法 | 人 | 165,710 |
| 商 | | | 品 | 177,908 | 未 | 払 | 費 | 用 | 304,378 |
| 貯 | 蔵 | | 品 | 24,212 | 前 | 受 | 金 | | 168 |
| 前 | 払 | 費 | 用 | 1,603 | 預 | り | 金 | | 20,838 |
| 繰 | 延 | 税 | 金 | 73,342 | 賞 | 与 | 引 | 当 | 51,200 |
| 短 | 期 | 貸 | 付 | 1,255,258 | 固 | 定 | 負 | 債 | 815,901 |
| そ | の | 他 | 流 | 19,743 | 長 | 期 | 借 | 入 | 781,500 |
| 貸 | 倒 | 引 | 当 | △ 8,760 | 退 | 職 | 給 | 付 | 33,878 |
| 固 | 定 | 資 | 産 | 3,205,128 | そ | の | 他 | 固 | 523 |
| 有 | 形 | 固 | 定 | 2,964,435 | 負 | 債 | 合 | 計 | 2,373,542 |
| 建 | | | 物 | 1,908,664 | 純 | 資 | 産 | の | |
| 構 | 築 | | 物 | 21,868 | 株 | 主 | 資 | 本 | 3,195,383 |
| 機 | 械 | 装 | 置 | 54,394 | 資 | 本 | 金 | | 240,000 |
| 導 | | | 管 | 200,826 | 利 | 益 | 剰 | 余 | 2,955,383 |
| 車 | 両 | 運 | 搬 | 2,415 | 利 | 益 | 準 | 備 | 60,000 |
| 工 | 具 | 器 | 具 | 175,333 | そ | の | 他 | 利 | 2,895,383 |
| 土 | | | 地 | 592,976 | 災 | 害 | 積 | 立 | 16,000 |
| 建 | 設 | 仮 | 勘 | 7,955 | 別 | 途 | 積 | 立 | 2,396,000 |
| 無 | 形 | 固 | 定 | 131,199 | 繰 | 越 | 利 | 益 | 483,383 |
| 借 | 地 | | 権 | 101,492 | 評 | 価 | ・ | 換 | △ 1,031 |
| そ | の | 他 | 無 | 29,707 | そ | の | 他 | 有 | △ 1,031 |
| 投 | 資 | そ | の | 109,493 | 純 | 資 | 産 | 合 | |
| 投 | 資 | 有 | 価 | 62,988 | 計 | | | | 3,194,352 |
| 繰 | 延 | 税 | 金 | 20,824 | 負 | 債 | 純 | 資 | 5,567,894 |
| そ | の | 他 | 投 | 51,311 | 債 | 純 | 資 | 産 | 5,567,894 |
| 貸 | 倒 | 引 | 当 | △ 25,631 | 合 | 計 | | | |
| 資 | 産 | 合 | 計 | 5,567,894 | 計 | | | | |

注記表

静岡ガスエネルギー株式会社

平成21年 1月 1日から

平成21年 12月 31日まで

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

(イ) 有価証券

子会社株式の評価基準及び評価方法は移動平均法による原価法、満期保有目的の債券の評価基準及び評価方法は償却原価法、その他の有価証券で取引所の相場のあ
る有価証券の評価基準及び評価方法は決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差
額は全部資本注手法により処理)によっております。

(ロ) たな卸資産

移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価
切下げの方法)によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

(イ) 有形固定資産

定率法によっております。

ただし、平成10年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)については、
定額法によっております。

(ロ) 無形固定資産

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間に基づく
定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

(イ) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、
貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額
を計上しております。

(ロ) 賞与引当金

従業員の賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(ハ) 退職給付引当金

退職給付引当金は、親会社からの出向者を除く当社採用の従業員に対する退職給
付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込み額に基づき、当期末におい
て発生していると認められる金額を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(5) 重要な会計方針の変更

(イ) 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当期から、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を適用しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

(ロ) リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、当期から、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日、平成19年3月30日改正))を適用して、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

なお、リース取引開始日が平成20年12月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

この変更による損益への影響はありません。

2. 貸借対照表に関する注記

| | |
|---------------------|--------------|
| (1) 有形固定資産の減価償却累計額 | 4,022,208 千円 |
| (2) 関係会社に対する金銭債権・債務 | |
| 短期金銭債権 | 1,307,798 千円 |
| 短期金銭債務 | 202,699 千円 |

3. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産

| | |
|-----------|------------|
| 退職給付引当金 | 13,449 千円 |
| 少額資産償却超過額 | 17,404 千円 |
| その他 | 75,361 千円 |
| 繰延税金資産小計 | 106,214 千円 |
| 評価性引当額 | △12,047 千円 |
| 繰延税金資産合計 | 94,166 千円 |

4. 一株当たり情報に関する注記

| | |
|----------------|--------------|
| (1) 一株当たり純資産額 | 6,654 円 90 銭 |
| (2) 一株当たり当期純利益 | 917 円 87 銭 |

5. その他の注記

記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。